

11.13-17佐サ訪米阻止斗争に決起せよ！

電気科斗争委員会に懇意く結集する学友諸君々
佐サ訪米を数日後にひかえた今日、我々は何をはすべきか？ 安保は日米を核としての、東南アジア侵略のための重大な軍事同盟であり、戦後24年を経た今日、日本帝国主義は復活し、その核たる自衛隊は年々増強され、今々多變ともにアジア侵略の先鋒となるうとしている。まさに日本は軍事、經濟的に一本立ちし、70年代には米帝にとつてかわろうとしているのである。

70年代に日帝が海外侵略を行なうには國論の統制が必要であり、反体制斗争の拠点たる大学に対するは大學法をもって彈圧して来た。一方、政府の手先である吉田は過去一年の農耕のたたかいを压殺し、今なお、新日本体制の總司令官として登臨している。

日大斗争の炎は今や理工学部の一部を除いて表面的には消えようとしている。首脳は理工学部に最後の彈圧をかけようとしているが、我々はこの彈圧をほねのけ、あの炎を再び大きく燃やし続けなければならぬ。

以上の意識をふまんたうえで11・15日大斗争勝利庶民集会に結集しようではないが、さうにまた、70年安保裏賃院起取り決めをもくろむ佐サニクソン会談を阻止のたたかいにし続次起せよ！

—スケジュール—

① 11月15日

日大斗争勝利庶民集会・テモ

一時 熊川公園

・時間未定